

歌詞に想いを込めて

9月20日、香取市佐原文化会館で行われた“ふるさとを詠う”コンサートに久賀小学校の児童が招待され、この日参加した4年生から6年生の46名が合唱を披露しました。

合唱したのは、「すずらん航空便」と「久賀小学校校歌」の2曲で、音楽の授業と部活の時間を使って練習に取り組み、本番では元気な歌声で会場を魅了しました。6年生の平山大夢君は、「本番では校歌の三番、二部合唱のところが練習よりも上手に歌えて良かった」と話してくれました。



楽しく学べた2つの講演会

9月13日、コミュニティプラザ3階多目的ホールで2つの講演会が開催されました。

初めに講師・宝井琴桜さんの張り扇と手ぬぐいの小道具を使いながら、家族と仕事場とご近所を題材に楽しみながらテンポよく男女共同参画社会についての講演が行われ、次に大門出身で新潟大学副学長を務める宮田等さんに、物理に興味を持ったきっかけから洗濯洗剤の白さについて道具を使って見せたり、また、特に認知症予防となる5つの実践方法など日常と科学を結び付けたためになる講演が行われました。両講演とも200名以上の来場者で会場が埋め尽くされ大盛況となりました。



新潟大学理学部 心理学科 副学長 宮田 等



全国の町・村自慢が大集合！

日本全国の300を超える町と村が地域の自慢の特産品などを展示・販売・PRする全国町村会主催による「町イチ村イチ」イベントが東京有楽町の国際フォーラム展示場をメイン会場に開催され、9月22日と23日の2日間で5万人以上の来場者が訪れ、賑わいを見せました。多古町のブースでは、多古米や大和芋の他にも町内業者が町の農産物を使って開発した「紅ほっぺアイス」や「さつまいものプリン」をPR。特に大和芋は売り切れるほどの好評ぶりでした。

高齢者を守る

10月3日、町内にある介護福祉施設「新町ハウス」と千葉県警、多古町、多古高校とが連携して避難訓練が行われました。千葉県警では、高齢者を災害や犯罪などから守るさまざまな取り組みの一環として県下にある福祉施設と協力して災害時における避難訓練を行っています。この日は、地震と施設内での火災発生を想定したもので、新町ハウスから避難所に指定されている多古高校まで、警察官が誘導を補助しながら施設の利用者を避難させる訓練となりました。



たくさん掘れたよ～

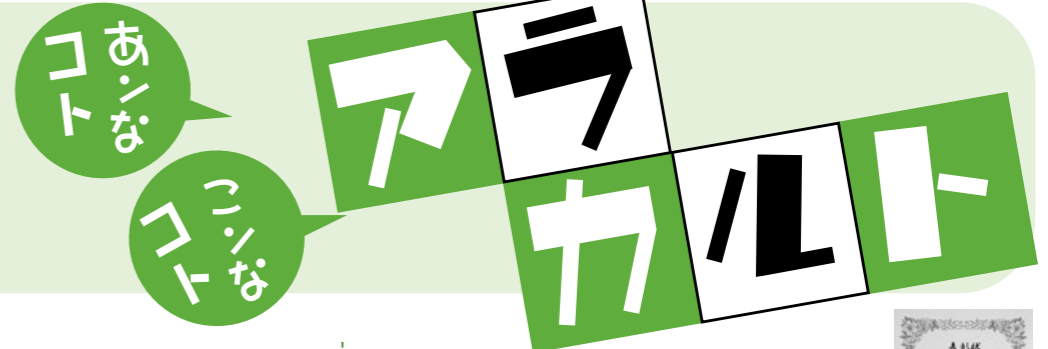
9月26日、NPO法人「都市と農村交流協会(理事長小川成義)」主催によるサツマイモ掘り体験が島地区の畑で開催され、抽選で選ばれた約150名が秋の収穫を楽しみました。

サツマイモ掘り体験は、今年で12回を数えますが、当初は人を集めるのに苦労したと小川理事長は当時を振り返って話します。今では、徐々に口コミで広がり県内だけでなく都内からの参加者を含め200名以上の応募があります。今年は、天候不順で小ぶりのイモが目立ちましたが、それでも大きな袋にいっぱい詰めて持ち帰る姿を見ることができました。

掘った後は、地元島地区のボランティアの皆さんにより“ふかしイモ”などが振る舞われ、サツマイモが大好きという女の子は、ほお張りながら「掘ったお芋は、家に帰ったらおみそ汁に入れて食べる！」と笑顔で話してくれました。



町の出来事や頑張っている皆さんを紹介するアラカルトコーナー。
このコーナーでは、皆さんからの情報をお待ちしています。
〒289-2292
多古町役場企画財政課広報係
☎76-5409



千葉県選抜中学生軟式野球チーム「千葉ファイターズ」の一員として活躍！

多古中学校野球部3年生の佐藤寿樹さんが千葉県選抜チームに選ばれ、8月30日に行われた関東近県選抜KWB野球大会で見事に優勝しました。9月20日から始まったU15全国KWB野球秋季大会では、島根県選抜チームと対戦した1回戦で先発ピッチャーを任せられ、4回無失点に抑え勝利に貢献しました。3回戦は山梨県選抜チームに延長戦の末、惜しくも負けてしまいましたが、佐藤さんは、「小学校1年生から始めた野球を通して得ることができた今までの素晴らしい経験は、日頃より熱心に指導して下さった監督や先生方、共に頑張ってきた仲間たちのおかげです。高校へ進学しても野球を続け、地元多古町を野球で盛り上げていきたいと思います」と話しました。



指導して下さった監督や先生方、共に頑張ってきた仲間たちのおかげです。高校へ進学しても野球を続け、地元多古町を野球で盛り上げていきたいと思います」と話しました。

▲1回戦先発ピッチャーとして登板



▶4番打者としても活躍

第二小スナッグゴルフ 過去最高成績の7位入賞！

9月21日、第13回スナッグゴルフ対抗戦JGTOカップ全国大会が宮城県にある仙台ヒルズゴルフ倶楽部で行われました。年々レベルが上がる中、夏休みや土日も練習に励んだ第二小学校選手の皆さんは、見事な成績をおさめ過去最高の7位入賞を果たしました。

「学校も保護者も地域も心をひとつに一丸となって頑張ってきたことは、とても幸せなことでした。選手全員が最高のプレーをし、第二小歴代ベストスコアを出すことができたことは、閉校を目前にした本校の子どもたちにとって未来につながる大きな自信となりました」と顧問の高橋先生は大会を振り返りました。

テレビのインタビューに答える選手たち▶



11月3日(火・祝) 午後6時～7時 BS12チャンネル TwellIV(トゥエルビ)で放送

新米 おいしい～！

秋晴れとなった9月19日、豊饒のさと多古ふれあい事業実行委員会主催による一般社団法人日本自動車連盟(JAF)の会員を対象とした稲刈り体験が島地区で開催されました。

午前10時過ぎにライスセンターに集まった家族連れなど約80名の参加者たちは、稲刈り用の鎌を使い手刈りで収穫を楽しみました。千葉市から参加した小学5年生の男の子は、「実際に田んぼで稲刈りをするのは初めて。稲が思っていたより柔らかいことに驚きました」と。また、大型コンバインの運転席に同乗して田んぼの中を走る体験では、「スピードが速い!」「運転席にはボタンがたくさんある」など、みんな大興奮。JA女性部の方が用意してくれた新米のおにぎりを食べながら「自然の中、みんなで食べるご飯は格別に美味しかった。また次回も参加したい」と話してくれました。

